

Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース 第113号 (Vol.29 No.2)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1999, 113, p. 23-24
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66352
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

利用者講習会へのごあんない

大阪大学大型計算機センターでは、春の利用者講習会を開催しました。このうち、参加者数の多かった2つの講習会についてその概要を紹介します。9月からは秋の講習会を開催しますので、本記事をご参考のうえ、講習会にご参加してみてください。（講習会日程は、本センター9月9日付「速報」No.292に掲載しています。）



UNIX入門

講師：木越 信一郎（大型計算機センター システム管理掛）

現在、WINDOWS MAC OS 全盛のパソコン時代ですが、研究者やエンジニア向け OS に UNIX があります。私も大学生の卒業研究のときになって初めて UNIX に触れました。いままでパソコンしか触れた事なかった私にはとても敷居が高く、使うのに苦労した記憶があります。実際の卒業研究をすぐにでも始めたかった私はもどかしく思いました。この講習会は、そのような UNIX を使った事が無い人や UNIX を理解したい人を対象にしています。講義の後に実習を行いますので、実際に UNIX に触れて理解することができます。

【講習会の主な内容】

大型計算機センターにあるワークステーションの紹介
UNIX の概要
基本的なコマンド
ネットワークを使った利用方法
X window システム
実習

【配布資料】

講義内容の冊子
UNIX コマンド解説冊子
実習問題と解答

スーパーコンピュータ (SX-4) 利用入門

講師：坂賀 力（大型計算機センター システム管理掛）

「スーパーコンピュータ利用入門」では、unix の知識があり、初めてスーパーコンピュータ (SX-4) を利用する方を対象にしています。

本センターでは、平成9年1月よりスーパーコンピュータ SX-4/64M2 のサービスを行なっています。SX-4/64M2 は、ベクトル処理と並列処理機能を融合したマルチノードのスーパーコンピュータで、利用者の大規模科学技術計算を極めて高速に処理します。SX-4/64M2 は、2ノードで構成されており、64台のCPUを備えています。

オペレーティングシステムは UNIX ベースで、FORTRAN90、FORTRAN77、C、C++などの開発用言語をはじめ、各種支援ツールなど快適なプログラミング環境を提供しています。浮動小数点演算は IBM 形式、GRAY 形式、IEEE 形式の3種類の形式をハードウェアでサポートしており、データ交換が容易にできるなどの点から、科学技術計算向けワークステーションと高い親和性があります。

本講習会では、本センターのシステム構成、スーパーコンピュータの特徴及び会話処理とバッチ処理の利用方法等を説明し、実習を行ないます。

SX-4 の利用はバッチジョブを主としており、バッチジョブの実行には NQS (Network Queueing System) という方式を用いています。NQS は数個のコマンドとオプションを利用することにより、容易にバッチジョブの実行が行なえますので、ぜひ、この機会にご体験ください。

初歩程度の UNIX の知識を必要としますので、UNIX も初心者であるという方はこの講習会の前に「UNIX 入門」の受講をお勧めします。

【講習会の主な内容】

大型計算機センターのシステム構成：

SX-4/64M2 の概要

スカラー演算とベクトル演算

ベクトル処理と並列処理

ワークステーションとの比較

ソフトウェアの一覧

接続前の準備

初期設定

ホームディレクトリの構造

利用形態

NQS 型バッチジョブ

会話型

FORTRAN77/SX の利用方法

入出力ファイルの指定方法

各種ライブラリーの利用方法

簡単な並列化の利用方法

その他：

Sxusers のメーリングリスト及び questions の紹介

センター利用相談

オンラインマニュアルを WWW で公開

実習：

sx への login、コマンドの実行。

開発環境 PSUITE の紹介。

NQS バッチジョブの実行。